

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	土岐市立泉中学校		
実 施 期 間	平成25年10月22日(火)～10月27日(日) ※27日(日)は家族参観日		
実 施 概 要	・学校参観週間 ・P T A教育講演会 ・家族参観(授業公開) ・P T A資源回収		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	384人	計 448人
	地域関係者	64人	
実 施 状 況	・9月初旬、資源回収の案内を保護者および地域に配付。 ・10月中旬、学校参観週間および家族参観日の案内を保護者に配付。学年通信等でも案内する。また、家族参観日にP T A教育講演会として盲目のシンガーソングライター佐藤英里さんのコンサートを実施することを周知。校区の小中学校にも案内を配付。 ・10月22日(火)より学校参観週間として、終日の教育活動を公開。保護者等には職員室で受付をして自由に参観。感想の自由記述を依頼。 ・10月27日(日)の午前中に授業参観を実施。その後、生徒、保護者、地域の方を交えて教育講演会を実施。 ・10月27日(日)の午後、資源回収を実施。 ・地域では、生徒が各家庭を回って資源を回収し、最終的には、地域の役員と一緒に学校に資源を集めて分別。		
成果及び課題	○生徒の姿や学校の教育活動を公開することによって、様々な立場や視点から助言がいただけ、地域の学校として今後の教育活動に生かすことができた。 ○地域関係者や保護者に合唱等の取組の成果を発表する機会をもつことによって、生徒自身の取組の振り返りができ、充実感や課題につなげることができた。 ○盲目でありながら、自分にできることを見つけ、夢を描き、その思いや願いを歌という形で表現する佐藤英里さんの生き方について、親子で語る機会をもつことができた。また、その歌声の素晴らしさを実感することができた。 ○環境保全に対する意識を高めるとともに、地域にある資源を十二分に生かすように保護者と生徒が協力し合って、回収することができた。地域や学校への貢献という意識を今後も高めていきたい。 ○保護者の協力(特に父親の活躍)が多い。普段、父親と接することが少ないため、この機会を通して父親への意識が変化することを成果と取り上げる保護者も多い。 △一週間の取組となるため、授業の内容等に意識的に郷土の内容を組み込んだり、地域の方の生き方を学ぶ講演会を計画したりするなど、実態に応じて内容を充実させていきたい。 △地域の中で保護者間のつながりも薄く、中学生の在住していない地域が増えている。この機会を活用して、地域の連携を深めていくようにする必要がある。		